

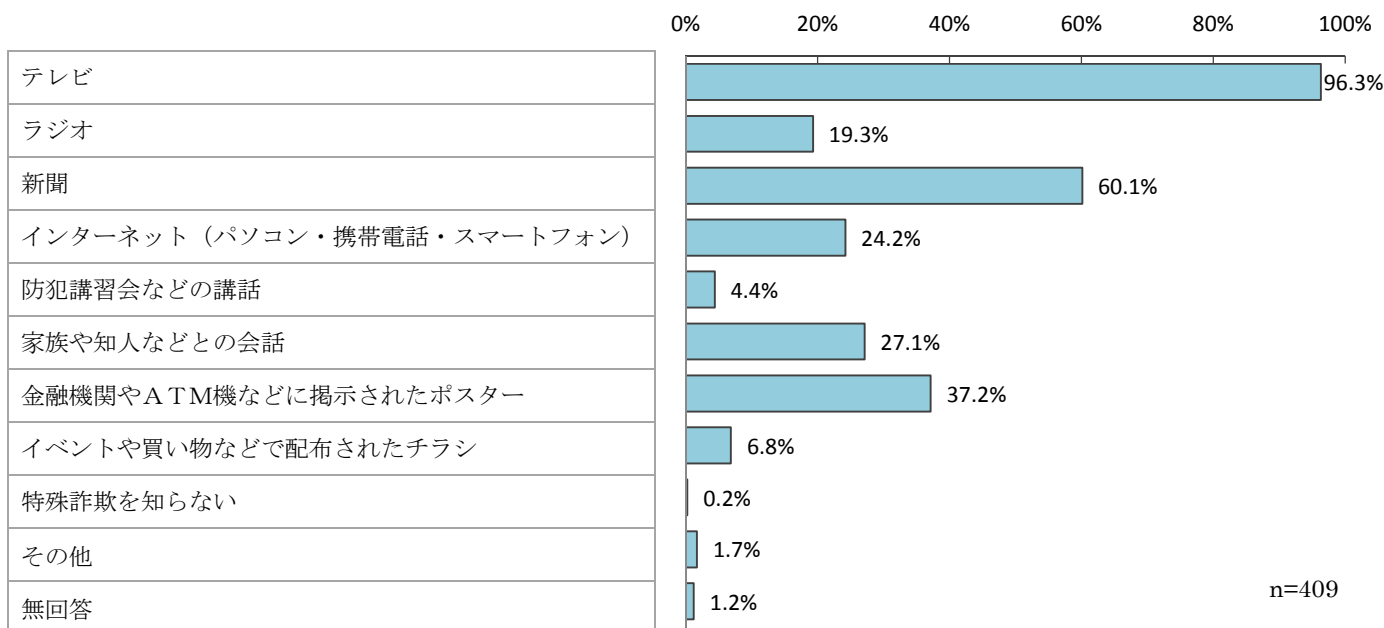
## 1 1. 特殊詐欺について

### (1) 特殊詐欺を何から知ったか

◇ 「テレビ」が9割半ば

問 3 0	あなたは、特殊詐欺を何から知りましたか。	(〇はいくつでも)
		n=409
1	テレビ	96.3%
2	ラジオ	19.3%
3	新聞	60.1%
4	インターネット (パソコン・携帯電話・スマートフォン)	24.2%
5	防犯講習会などの講話	4.4%
6	家族や知人などとの会話	27.1%
7	金融機関やATM機などに掲示されたポスター	37.2%
8	イベントや買い物などで配布されたチラシ	6.8%
9	特殊詐欺を知らない	0.2%
10	その他 (具体的に： )	1.7%
	(無回答)	1.2%

<図IV-6-1>全体



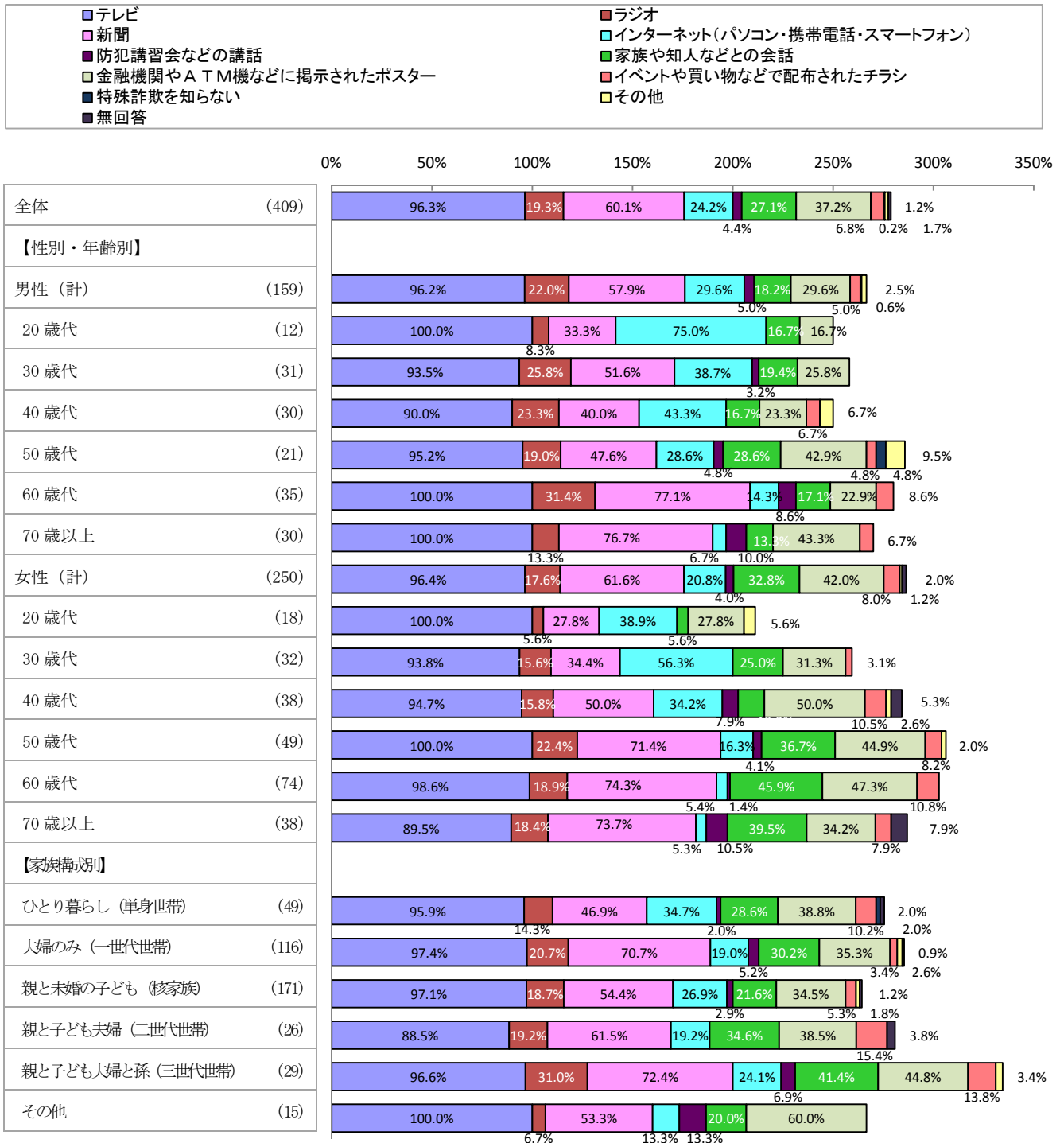
特殊詐欺を何から知ったかについては、「テレビ」が96.3%で最も高く、次いで「新聞」が60.1%、「金融機関やATM機などに掲示されたポスター」が37.2%と続いている。(図IV-6-1)

その他の意見では、「実際に電話・ハガキ・メールがきた」、「会社・警察・自治会回覧板のお知らせ」などがあつた。

性別・年齢別で見ると、いずれの性別・年代でも「テレビ」が最も高く、「新聞」は男性の<60歳代><70歳以上>、女性の<50歳代>から<70歳以上>で70%を超えている。「インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)」では、男女ともに<20歳代>から<40歳代>で30%を超えている。特に、<男性/20歳代>は75.0%と最も高かった。(図IV-6-2)

家族構成別で見ると、いずれの家族構成でも「テレビ」が最も高く、全体の傾向と同様であった。(図IV-6-2)

<図IV-6-2>性別・年齢別/家族構成別

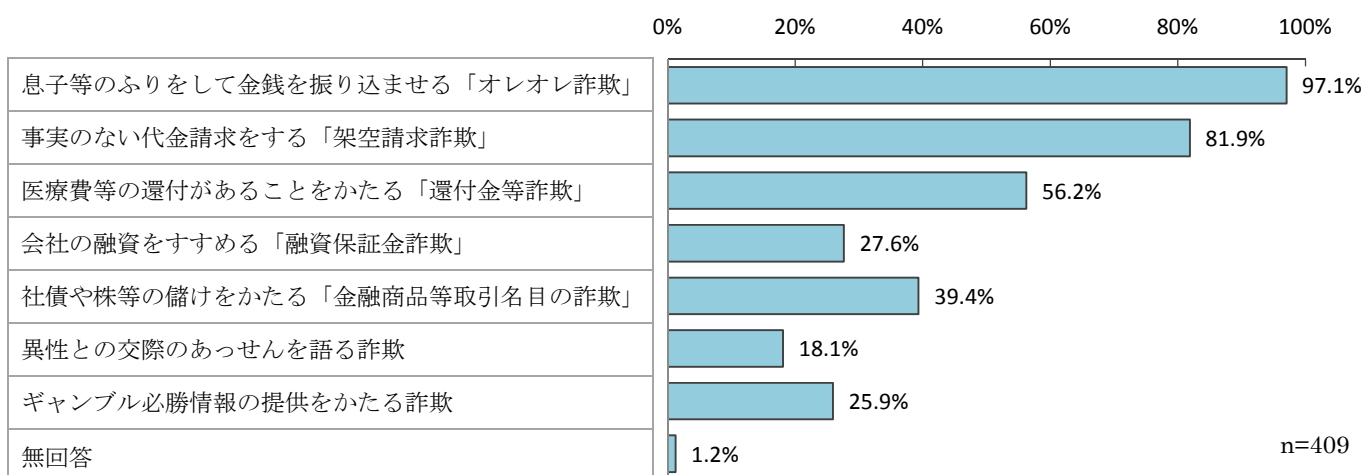


## (2) 知っている特殊詐欺の手口

### ◇ 息子等のふりをして金銭を振り込ませる「オレオレ詐欺」が10割弱

問3 1	あなたが知っている特殊詐欺の手口は何ですか。	(〇はいくつでも)
		n=409
1	息子等のふりをして金銭を振り込ませる「オレオレ詐欺」	97.1%
2	事実のない代金請求をする「架空請求詐欺」	81.9%
3	医療費等の還付があることをかたる「還付金等詐欺」	56.2%
4	会社の融資をすすめる「融資保証金詐欺」	27.6%
5	社債や株等の儲けをかたる「金融商品等取引名目の詐欺」	39.4%
6	異性との交際のあっせんを語る詐欺	18.1%
7	ギャンブル必勝情報の提供をかたる詐欺	25.9%
	(無回答)	1.2%

<図IV-6-3>全体

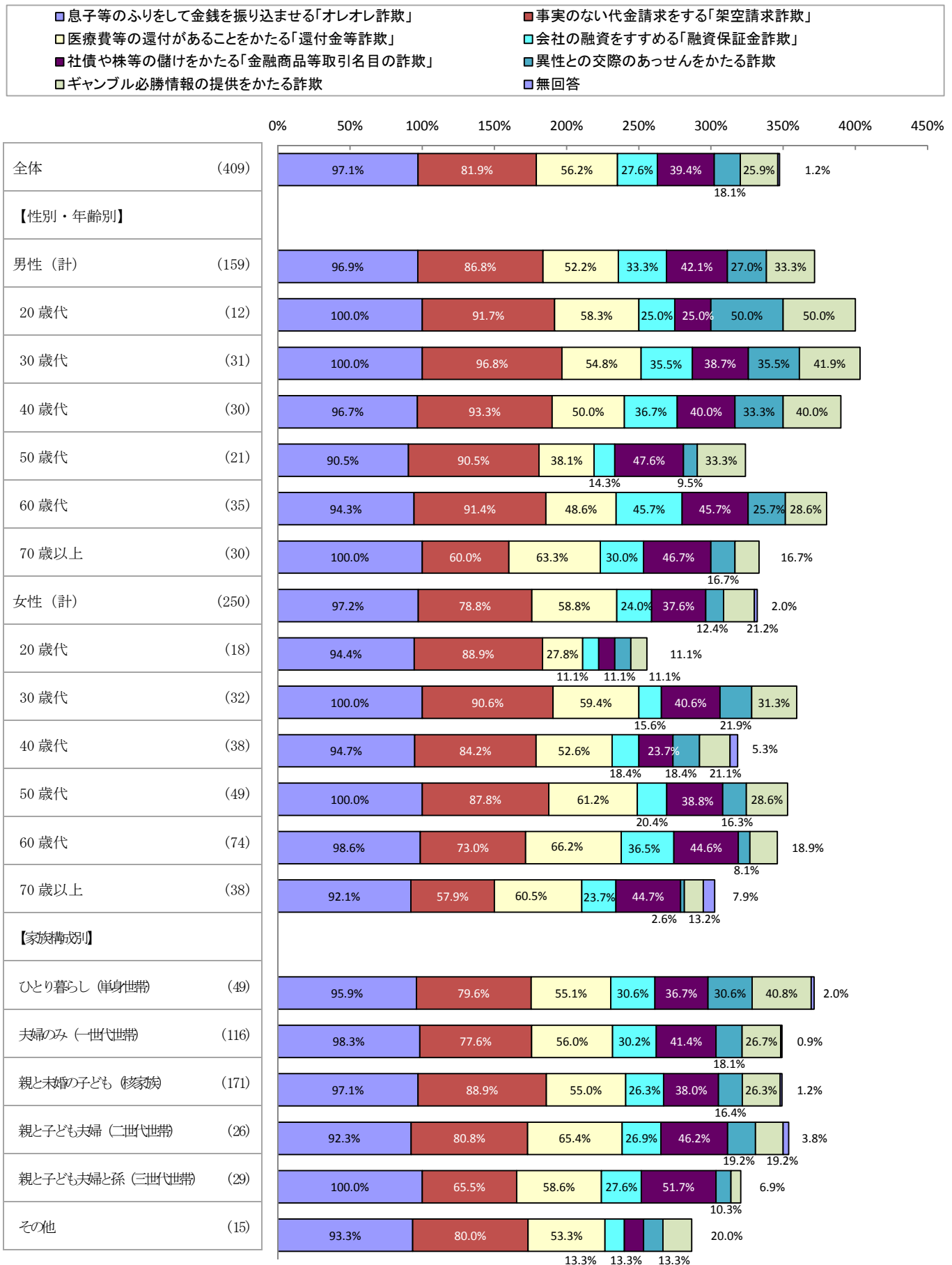


知っている特殊詐欺の手口については、「息子等のふりをして金銭を振り込ませる『オレオレ詐欺』」が97.1%で最も高く、次いで「事実のない代金請求をする『架空請求詐欺』」が81.9%、「医療費等の還付があることをかたる『還付金等詐欺』」が56.2%と続いている。(図IV-6-3)

性別・年齢別でみると、「息子等のふりをして金銭を振り込ませる『オレオレ詐欺』」が、いずれの年代においても最も多かった。「事実のない代金請求をする『架空請求詐欺』」は、男女ともに<20歳代>から<60歳代>で70%を超えているが、<男性/70歳以上>60.0%、<女性/70歳以上>57.9%と少なかった。「異性との交際のあっせんを語る詐欺」「ギャンブル必勝情報の提供をかたる詐欺」は男性が多い傾向にある。(図IV-6-4)

家族構成別でみると、「息子等のふりをして金銭を振り込ませる『オレオレ詐欺』」が、いずれの家族構成においても最も高く、次いで「事実のない代金請求をする『架空請求詐欺』」であった。「異性との交際のあっせんを語る詐欺」「ギャンブル必勝情報の提供をかたる詐欺」は家族構成人数が少ないほど高くなる傾向にある。(図IV-6-4)

<図IV-6-4>性別・年齢別/家族構成別

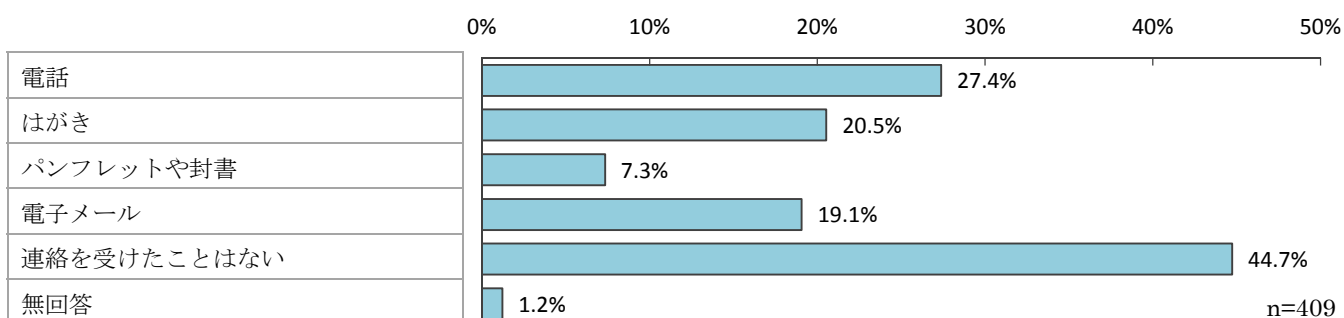


### (3) 特殊詐欺に関してどのような連絡を受けたか

#### ◇ 「連絡を受けたことはない」が4割半ば

問3 2 あなたはこれまでに特殊詐欺に関してどのような連絡を受けたことがありますか。		(○はいくつでも)
		n=409
1	電話	27.4%
2	はがき	20.5%
3	パンフレットや封書	7.3%
4	電子メール	19.1%
5	連絡を受けたことはない	44.7%
	(無回答)	1.2%

#### <図IV-6-5>全体

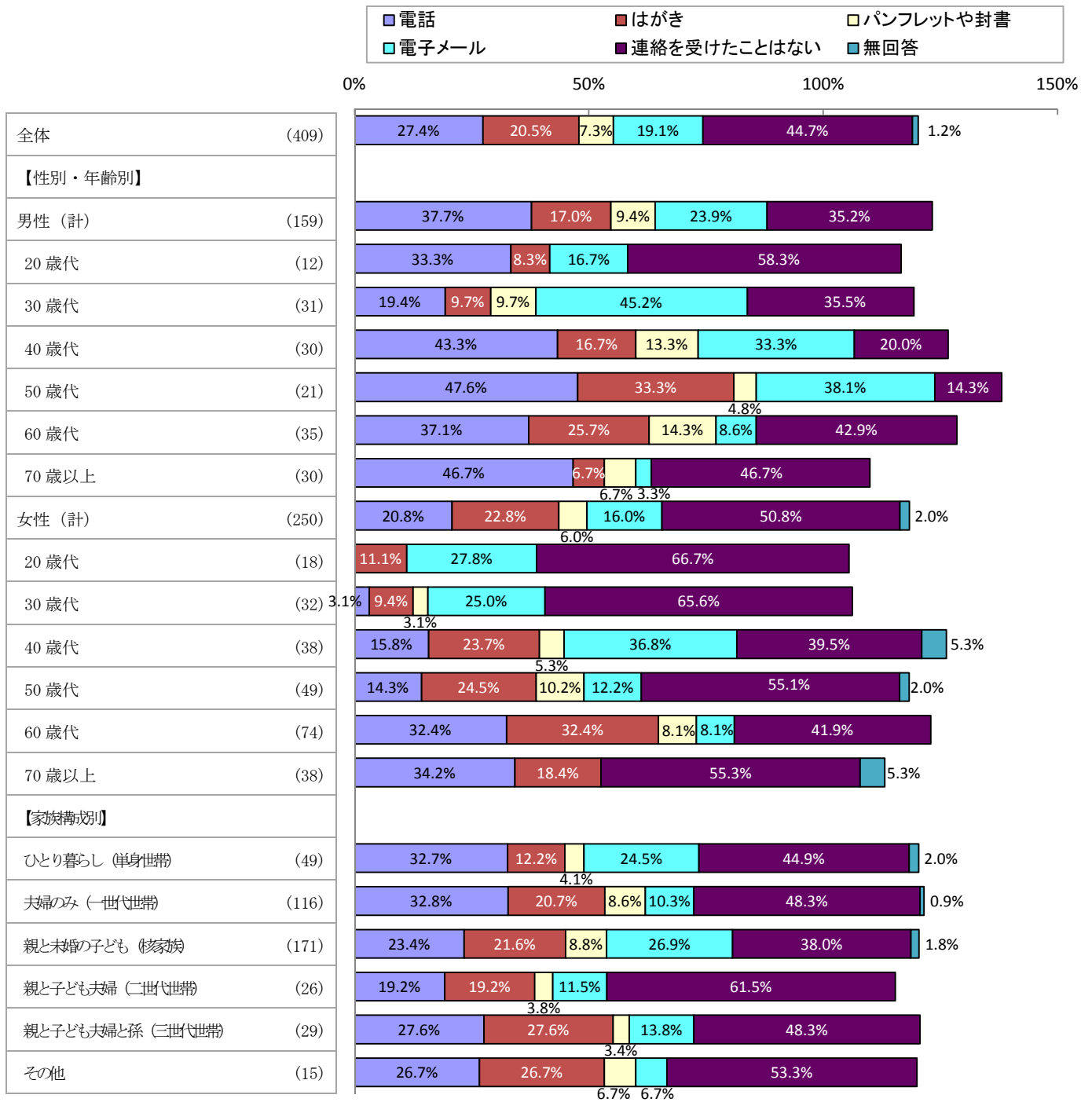


特殊詐欺に関してどのような連絡を受けたことがあるかについては、「連絡を受けたことはない」が44.7%で最も高く、次いで「電話」が27.4%、「はがき」が20.5%と続いている。(図IV-6-5)

性別・年齢別で見ると、「連絡を受けたことはない」は<女性/20歳代>が最も高く、66.7%であった。連絡を受けたことがある人で、「電話」は<男性/70歳以上>の46.7%、「はがき」は<男性/50歳代>の33.3%、「電子メール」は<男性/50歳代>の38.1%がそれぞれ最も高く、いずれかの方法で連絡を受けたことがあるのは、<男性>が多い傾向にある。(図IV-6-6)

家族構成別で見ると、「連絡を受けたことはない」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が最も高く、61.5%であった。(図IV-6-6)

<図IV-6-6>性別・年齢別/家族構成別

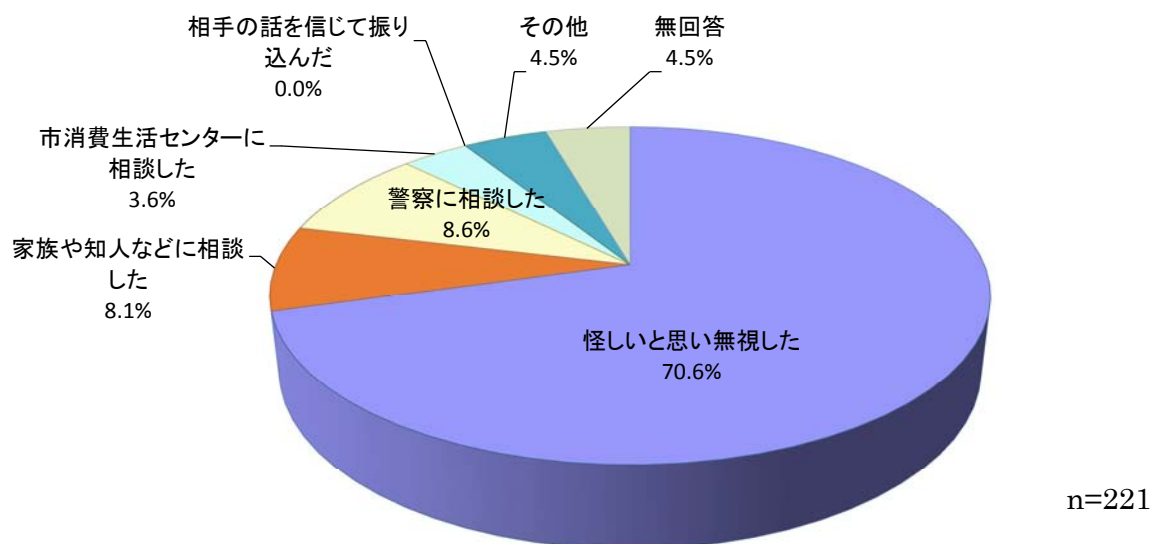


(3-1) 連絡を受けた際どのように対応したか

◇ 「怪しいと思い無視した」が約7割

問33	(問32で「1 電話」「2 はがき」「3 パンフレットや封書」「4 電子メール」と答えた人に) あなたは連絡を受けた際どのように対応しましたか。(○は1つ)	n=221
1	怪しいと思い無視した	70.6%
2	家族や知人などに相談した	8.2%
3	警察に相談した	8.6%
4	市消費生活センターに相談した	3.6%
5	相手の話を信じて振り込んだ	0.0%
6	その他(具体的に: )	4.5%
	(無回答)	4.5%

<図IV-6-7>全体



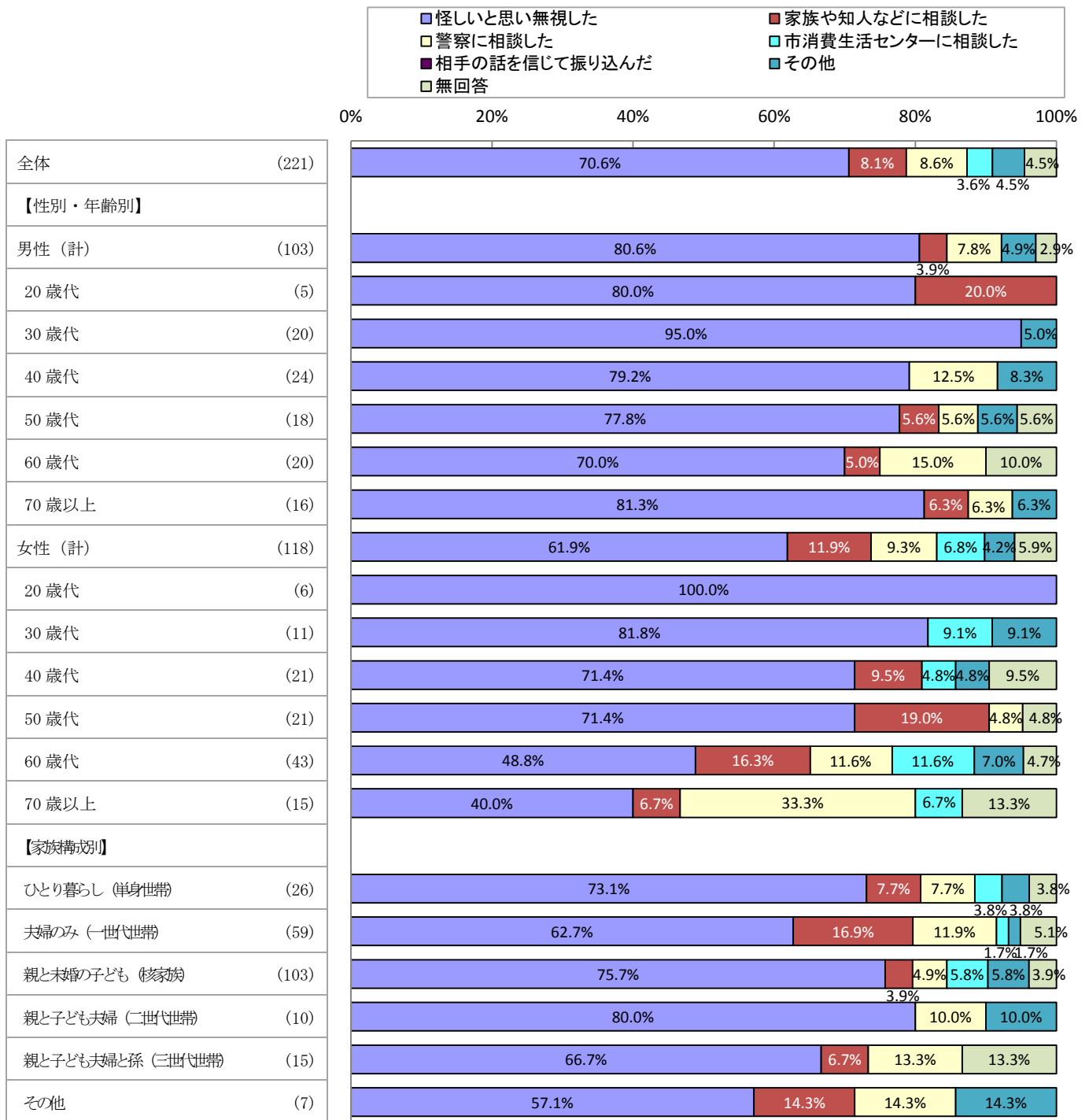
特殊詐欺で連絡を受けた際どのように対応したかについては、「怪しいと思い無視した」が70.6%で最も高く、次いで「警察に相談した」が8.6%、「家族や知人などに相談した」が8.2%と続いている。(図IV-6-7)

その他の意見では、「何らかの対策を講じた(行政に確認・依頼)」「逆に電話をした(脅かす、嫌がるまでかけ続けた)」などがあった。

性別・年齢別でみると、「怪しいと思い無視した」がいずれの性別・年代においても最も多かった。「警察に相談した」は、<女性/70歳以上>の33.3%、「家族や知人などに相談した」は、<男性/20歳代>の20.0%が最も高かった。(図IV-6-8)

家族構成別でみると、「怪しいと思い無視した」がいずれの家族構成においても最も高く、「家族や知人などに相談した」は、<夫婦のみ(一世代世帯)>の16.9%が最も高かった。(図IV-6-8)

<図IV-6-8>性別・年齢別/家族構成別







<図IV-6-10>性別・年齢別/家族構成別

